## 学校感染症罹患証明書の提出について(依頼)

生徒が、学校感染症に罹患したと診断された場合、学校保健安全法第 | 9条の規定により、学校における流行を防ぐため、出席停止の措置をとることになっています。(「感染症の種類」参照)

ただし、症状等により、予防上支障がないと認められる場合は、この限りではありません。

出席停止が必要と診断された場合、下の「学校感染症罹患証明書」の提出をお願いしていますので、医療 機関で記入していただき、再登校時に担任へ提出してください。

「感染症の種類」

	-13 N1 4T WT	1 1 14-15					
感染症の種類		出席停止の期間の基準					
第一種	感染症法の一類と二類の感染症	治癒するまで					
	百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで					
	麻疹	解熱後3日を経過するまで					
	流行性耳下腺炎	耳下腺の腫張が発現後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで					
第二種	風疹	発疹が消失するまで					
	水痘	すべての発疹が痂皮化するまで					
	咽頭結膜熱	主要症状が消退後 2 日を経過するまで					
	結核	病状により医師において感染のおそれがないと認めるまで					
	骨髄炎菌性髄膜炎	病状により医師において感染のおそれがないと認めるまで					
第三種	感染症法の三類感染症						
	流行性角結膜炎	病状により医師において感染の恐れがないと認めるまで					
	急性出血性結膜炎						
	その他の感染症(溶連菌感染症、マイコ	医師から感染のおそれがあるため登校を控えるように指示された(出席停止を					
	プラズマ感染症、感染性胃腸炎など)	求められた)場合、その期間					
		※「その他の感染症」は放置すれば流行拡大の可能性があり、学校で流行が起					
		こった場合、それを防ぐため、必要があれば校長が学校医の意見を聞き、第三					
		種感染症としての措置をとることができる疾患					

※インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症は別様式の提出になります

				切り	取	·)					
学校感染症罹患証明書										担任印	
年	組										
生徒氏	名										
病名							に罹患したことを証明します。				
【出席停止	期間】	令和	年	月	日	から	月	日	まで		
令和	年	月	日	医療機	関名						

医師名

印